

〈人口〉
男 8,948人
女 9,122人
計 18,070人
世帯数 4,106戸

2月のメモ
3日 選挙管理委員会
5日 参議院補欠選挙投票日
8日 国保運営協議会
9日 小中学校長会
10日 公平委員会
11日 建国記念の日
16日 国民年金相談日、町県
17日 健康優良児表彰式
20日 教育委員会、農業委員
21日 献血、選挙管理委員会
22日 戸籍届書類互審会
27日 例月出納検査
28日 国保税徴収

参議院補欠選挙

投票率は27.93%

得票数

突然の国政選挙に対する関心度が低いと予想されていたこともあって、町内全域にわたって、広報車による積極的な投票への呼びかけを行ないましたが、予想以上に投票率が低かったことは残念なことです。

参議院(地方選出)議員茨した。
城選選挙区補欠選挙は、さる五日町内十六カ所の投票所で投票が行われ、午後七時三十分からは即日開票も行われ、

得票数
岩上 二 八六六
石川 達男 五四九
海野みきお 二一〇
高田 かん 四八

投票所別投票率

投票所	有権者数	投票率
麻生 第1	1,120人	23.8%
〃 2	1,514	30.8
〃 3	1,248	24.4
〃 4	351	27.4
太田 第1	911	36.1
〃 2	532	27.6
大和 第1	1,080	29.3
〃 2	1,013	28.5
〃 3	804	29.7
〃 4	513	34.5
行方 第1	690	20.1
〃 2	678	28.5
〃 3	312	20.5
小高 第1	1,117	25.2
〃 2	964	27.1
〃 3	405	32.8
合計	13,252	27.9

豊かな住みよい町づくりをめざして
「みんなで行う社会教育の集い」
中央集会開催される

わたしたちのふるさとには美しい湖と緑豊かな自然環境に恵まれ、古くから多くの文化に接し、生活に快適な地域でありましたが、近年、産業構造の変化にともない、急速な社会構造の変容により、好ましい人間関係を阻害し、思いやりや社会連帯感がうすれ、青少年問題、親子のふれ

「みんなで行う社会教育の集い」が開催され、実践化をめざして各地区で研究協議がなされましたが、さる一月十三日中央集会が行われ、午前中は四つの分科会に分かれ、それぞれ真剣に研究協議が展開され、分科会毎に実践目標も設定され、かなり大きな成果をあげることができました。

全体会では、この実践目標が確認されて終了しました。午後は茨城大学講師帯刀 治先生により「社会連帯とコミュニケーションづくりについて」の講演があり、わかりやすく論説されました。「日常生活において地域社会への愛着心をも

第一回臨時町議会

一般会計補正予算

九百七十五万円を追加

昭和五十三年第一回臨時町議会が一月十八日午前十時から開かれ、昭和五十二年一般会計補正予算についての審議が行われ、原案どおり可決されました。

〔議案第1号〕
昭和五十二年麻生町一般会計補正予算
一般会計の総額に、歳入歳出それぞれ九百七十五万七千円を追加し、歳入歳出それぞれ二十三億一千六百五十九万一千円としたものです。

2月28日～3月13日
春の全国火災予防運動

使う火を
消すまで離すな目と心

空気は非常に乾燥し、強風が吹くことの多い時期にあたり、火災予防思想の一層の高揚を図るとともに、火災による悲惨な焼死事故や、貴重な財産の損失を防止するとの趣旨で、二月二十八日から三月十三日までの間、春季全国火災予防運動が実施されます。

家庭や職場で火災予防について話し合い、安全を点検して、火災発生の防止と人命損傷事故の絶滅に心がけましょう。

◎家庭の防火対策
1、病人、幼児、老人、その他身体不自由者等に対する安全な就寝場所の確保
2、寝たばこの防止と就寝前

◎屋外の防火対策
1、異常乾燥時および強風時の出火の防止
2、着火しやすい可燃物の除去
3、喫煙後の始末並びにたき火に対する消火用具の備えと監視の励行

◎職場の防火対策
1、防火管理者をはじめとする従業員の防災教育の実施
2、実際に即した消火、通報避難訓練等の実施
3、従業員一人一人の自主的な意識と責任に根ざした機能的な防災体制の確立

〔善〕
〔意〕
善意銀行へ次の方が預託されました。
蔵川の宮崎春雄さんは、蔵川老人クラブ・蔵川子供会へ各五千円。
青沼の横山幸成さんは、青沼老人クラブへ五千円。
青沼の横山哲正さんは、青沼老人クラブへ五千円。
小高の梅原宗吉さんは、朋友老人クラブへ一万円。
笹田の柏葉いしさんは、笹田老人クラブへ三十三個。
於下の山根道邦さんは、行方老人クラブへ一万円。
井貝の小山田もとさんは、井貝老人クラブへ一万円。
新宮の鬼沢武信さんは、新宮老人クラブへ一万円。
宇崎の高野睦治さんは、宇崎老人クラブへ五千円。
小高の宮内道磨さんは、橋門老人クラブへ三千円。
小高の茂木平一郎さんは、小高集会所へ掛時計一個。

蔵川の山口翠さんは、蔵川老人クラブへ五千円。
笹田の老人会は、大和第一小学校へぞうきん百四十三枚。
笹田の大川牧場さんでは、大和第一小学校へ写生用画用紙代として五千円。
小牧の追田みよさんは、大和第一小学校へ本購入代として三千円。
天掛の高崎あいさんは、天掛老人クラブへ一万円。
岡の箕輪保さんは、岡子供会へ二千円。
島並の高栖正洋さんは、交通遺児へ二万円。
小高の梅原くらさんは、交通遺児へ五千円。
井貝ときわ会は、小高小学校へ竹ぼうき二十二本、ぞうきん百八枚。
小高老人会は、小高小学校へ竹ぼうき二十本。
島並の小松崎 昇さんは、島並上下老人会へ一万円。
小高の老人クラブ長生会は、ぞうきん二百五十枚。
四鹿の横田てるさんは、歳末助け合いのため五千五百円。
麻生ゴルフ会は、歳末助け合いへ五万円。
麻生ABC会は、歳末助け合いへ五万円。
麻生の平野春男さんは、新田老人クラブへ一万円。
前谷老人クラブは、小高小学校へ竹ぼうき三十本、ぞうきん百二十枚。

みんなの街です。美しく
吸いからの投げ捨てはやめましょう。

Smokin' Clean



吸わない人への思いやり——大切なエチケットです。——

(日本煙草工業)

